

第6回ジオパーク下仁田協議会ガイド部会（報告）

日時 令和4年3月17日（木）午後7時00分～
場所 下仁田町自然史館 ミーティングルーム

所 属	氏 名	出・欠	所 属	氏 名	出・欠
下仁田ジオパークの 会・鉄山研究会	大河原 順次郎	欠	下仁田ジオパークの会	松原 信也	出
下仁田ジオパークの会	森川 恵美子	出	下仁田町観光協会	津金澤 英美	欠
下仁田ジオパークの会	神戸 百合子	出	下仁田自然学校	中村 由克	出
下仁田ジオパークの会	高橋 敏博	出			
下仁田ジオパークの会	高橋 真理子	出	協議会事務局	林 通典	欠
下仁田ジオパークの会	黒澤 雅史	出	協議会事務局	赤 岡 明	出
下仁田ジオパークの 会・荒船風穴解説員	堀口 和利	出	協議会事務局	関谷 友彦	出

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 報 告

（1）2021年度下仁田ジオパーク再認定審査結果について

資料1の通り報告し、下記の質問・提案が行われました。

質問：下仁田のジオパークは協議会体制が弱い。そんな中でパートナーシップや事務局員の増員を誰がどのようにすすめるのか。

回答：ジオパークに積極的に関わっていただいている下仁田自然学校や下仁田ジオパークの会と協力しながら課題に取り組んでいきたい。

質問：指摘された項目のパートナーシップの構築についてどんなものを指すのか。

回答：お互いの利害関係が一致する団体と連携し、将来書面協定をむすび、（例えば協議会で宣伝する代わりに、ジオパークをPRしてもらうなど）地域の課題を解決するようという指摘内容です。

意見：パートナーシップを結ぶ相手に結ぶメリットの可視化をしないといけないのではないか。協議会でジオ商品などを宣伝してあげるといのはあまりメリットにはならないので、ジオパーク活動に関われば SDGs に配慮しているという企業イメージに繋がるというのも検討してみてもどうか。

意見：企業には下仁田のジオイメージがほとんどない。そんな状況でメリットに感じてくれる企業はないと思う。地元の団体とのパートナーシップや、下仁田を地質研究で訪れる研究室と、見学旅行のお手伝いをする代わりに地元のお店を使ってもらうなどもの連携も考えてみてはどうか。このほか建設会社なら各地を走り回る車にジオパークのPRステッカーを貼るなど。小さなことから具体的に始めないと、何もできないまま過ぎてしまうのではないか。

意見：群馬県は浅間と下仁田と二つあって、両者が連携して県に要望を出していくのもいいではないか。

その他

意見：宿泊客の中には、泊まった朝に町中を20分程度で回りたいという人はいる。道の駅来た人も不通だけまわるとか、米山寺だけいくとか簡易なガイドコースとか提案してみるのはいいいのでは？

意見：かつ井の会は今年度も来月からスタンプラリーを開催する予定である。ジオパーク再認定になったのでアピールするのはどうか。例えばスタンプラリーの枠に、ジオパークのスタンプとか入れるのはどうか。もしくは枠に合うスタンプやシールを作るのはどうか。

4 協議事項

(1) 下仁田ジオパーク総合パンフレットの補足解説書(案)について下記の質問や修正提案が出されました。

質問

・蒔田不動の滝はかこう岩類となっているが、正式には閃緑岩ではないか。
回答：一般の人に分かり易いようにかこう岩類とした（かこう岩類の中には閃緑岩もふくまれる）

意見：

- ・方位、スケールが見辛い。
- ・「見る」「観察できる」の統一した方がよい。
- ・地図に青岩公園やすべり面などの主要なサイトが入ってない。
- ・馬山丘陵は新旧二面の段丘地形とあるけど、上下二段の方が分かり易いのではないか。
- ・中央構造線ということばかりから断層がイメージできない。（断層であることを注釈つけたほうがいい）

（2）下仁田ジオパークのアクションプラン（2022～2026）（案）について

前回のガイド部会までに検討したアクションプランを基に、再審査以降の変更について意見交換が行われ、ガイド育成の強化の項目に生態系・無形文化財に関する学習会を行うことを計画に入れました。提案された意見は下記のとおりです。

意見：下仁田ジオパークの会が3つのモデルコースを作った。更に、今回新しい下仁田ジオパークのテーマができた。これから先のツアーでは、テーマの内容を入れるようにしたほうがよいのではないか。

意見：地球科学的な価値をガイドツアーに盛り込むというのも3つのモデルコースの中で検討しながら専門の人たちと意見交換するのがよいのではないか。

意見：ガイドを行う中で文化的な背景、生態学的分野を説明する部分はまだ弱い。例えばおまつりなど文化背景の部分の専門家による学習会をしてみるなど入れてみるのはどうか。飛騨高山では一年中屋台蔵が見えるようになっているので、下仁田の山車小屋でも山車の写真が小屋の外からでも見えるようになってるとよいと思う。

5 次回の部会開催について

2022年5月頃を予定

6 閉 会